

1 結果

<集計の仕方>

※ A:十分達成→5点 B:おおむね達成→3点 C:やや不十分→1点 D:不十分→0点 とし、合計点を全員がA(5点)をつけた場合の何%にあたるかを達成度とした(人数は、項目により異なる)。

$$(A \times \text{人数}) + (B \times \text{人数}) + (C \times \text{人数}) + (D \times \text{人数}) = \text{合計点} \quad \text{合計点} \div (5 \times \text{合計人数}) \times 100 = \text{達成度}$$

	評価の観点	30年 7月	30年 12月	元年 7月	成果(O) や 課題(D) ・ 改善策(D)
学校目標を具現するための指導体制の確立と実践	①3つの重点目標の具現に向けて、職員が共通認識をもち、連学年、学年、クラスで取り組んでいるか。	58	60	58	<p>○個人・学年では頑張れた。</p> <p>○「心みがき清掃」では、係の先生を中心に、丁寧に説明していただいている。</p> <p>○同じ方向を向きながら取り組んでいると思いたい。</p> <p>◇学校全体の統一がとれると、さらによいのではないか。</p> <p>◇「心みがき清掃」については、職員に意識の差がある。</p> <p>◇クラスに偏りがある。意識づけが必要。</p> <p>◆再度、全職員で読み合わせ等を行い、共通認識をもつ。</p> <p>◆各学年会で、学年としての具体的な取り組みを検討する。</p> <p>◆各自で学級経営案を見返し、具体目標を設定・修正する。</p> <p>◆「心みがき清掃」では、職員の意識や学級に差がでないよう、全校での取り組みを大切に位置付けながら、「3つの玉」を磨いていく。</p>
	②児童は、返事や発言の仕方、聴く態度が身についているか。	45	53	47	<p>○3ヶ月の間に、随分進歩した。「UD化」「ルール化」が定着してきた。</p> <p>○基本的には素直な子どもたちである。</p> <p>○騒がしいときや落ち着かないときに、子どもたちがお互いに声を掛け合っている。</p> <p>◇まだ、身につけていない児童がいるので、返事に気付くまで名前を呼ぶなど、習慣付けを行っている。</p> <p>◇注意を促しているものの、教師や友だちが話しているのに話し掛けて最後まで聞けなかったり、話している人の方を見れなかったりする。</p> <p>◇返事が不十分。</p> <p>◇聴く意識が低い児童には、その都度声を掛けしている。</p> <p>◆「丸子北小スタンダード」を進める。</p> <p>◆毎時間、ペアやグループ等で発表する時間を位置付け、全員に発言する機会を確保する。</p> <p>◆日々の生活の中で継続して指導し、習慣化を図っていく。</p>
	③児童は、進んで考え、自分なりに表現しようとしているか。	50	57	51	<p>○「北小テレビ」や「北小ダンサーズ」など、自分たちで進んで表現していると思う。</p> <p>○聴いて認めることで、自己表現しようとしている。</p> <p>○◇クラスの全体交流のおもしろさが広がりつつあるが、まだ個人差がある。</p> <p>○◇本年度は、児童会を中心に6年生が頑張って発信しているよと思うが、全体的にはまだまだという感じがする。</p> <p>◇経験や語彙が豊かでないことから、言いたいことが言えない。</p> <p>◇表現する児童が偏っているため、全員が表現できるよう工夫していきたい。</p> <p>◇個人差がある。発表する子は、ほぼ決まっている。</p> <p>◆「丸子北小スタンダード」を進めながら、体で実感できるような体験を積む。</p> <p>◆児童が「考えたくなる」「表現したくなる」ような学習問題や追究を設定していく。</p> <p>◆「じっくり考える時間」を、単元の中で位置付けていく。</p> <p>◆毎時間、ペアやグループ、全体の場で自分の思いを伝える時間や機会を確保する。</p>
	④児童は、自分から挨拶ができているか。	50	48	46	<p>○全体的にはよくなっていると思うが、個人差がある。</p> <p>○個人差はあるが、挨拶できる児童の方が多い。</p> <p>○個人差はあるが、声を掛ければ挨拶が返ってくる。</p> <p>○◇よくなってきているとは思いますが、もう少し頑張ってもらいたい。</p> <p>◇個人差がある。個人差がはっきりしている。</p>

				<p>◇「自分から」は難しい児童や、挨拶を返さない児童もいる。</p> <p>◇教師が見本になり、進んで挨拶をしている。</p> <p>◇挨拶は、会話の基本であることを意識させたい。</p> <p>◇入退室時の挨拶がない児童がいる。貼り紙等、工夫が必要か。</p> <p>◆児童会活動で「あいさつ週間」などを実施し、全校で挨拶を見返す機会を作る。</p> <p>◆「北小っ子ルール」「ハイ！」の指導・徹底</p> <p>◆教師間の挨拶も含め、教師自身が進んで気持ちのよい挨拶をするように心掛けていく。</p>	
	⑤児童の清掃は、低「自分のやることをしっかり」中「自分から気づいて動く」高「責任をもち、そうじ場所と自分の心を振り返る」はできているか。 → 児童は、「がまん玉」を中心に、「心みがき清掃」に主体的に取り組んでいるか。	49	57	57	<p>○「がまん玉」を1つ磨くことに焦点を絞り指導してきた。目標に向かい、よくできた。</p> <p>○「がまん玉」を磨くために、おしゃべりを我慢し、自己と向き合う姿勢が整えられつつあると思う。係の発信がよい。</p> <p>○みんな黙って掃除ができています。「がまん玉」はよくできている。</p> <p>○「PDCAサイクル」がうまくいき、「だまって」の中身に変化が出てきた。</p> <p>○個人差はあるが、心みがき清掃をやっていこうと努力している姿が見られる。</p> <p>○◇「心」は育ってきているけれど、本当にきれいにはなっていないのが現状。</p> <p>◇自分の掃除場所であることへの責任感や愛着をもたせたい。自覚させる指導の必要性がある。</p> <p>◇一生懸命やる子とやらない子の差が大きい。気分がのらないと、やらない児童への対応が難しい。</p> <p>◆1学期「がまん玉」は、全体によく磨かれたと思われる。2学期は、さらに「見つけ玉」「しんせつ玉」へと広げていきたい。</p> <p>◆係を中心に、全職員が共通の意識をもって取り組む。</p>
基礎的な学力の定着と自己表現の育成	⑥重点研究は、具体的な子どもの姿にもとづき、自己課題を意識した研究になっているか。	64	60	68	<p>○一人ひとりのよさや、力をお借りして、算数部会全体の学びとなった。</p> <p>○お互い学び合えるよい研究となっている。</p> <p>◇せっかく授業公開をしてくださるのに、参観される先生が少ないことが残念。</p> <p>◆「一人一公開」では、授業を1時間全て参観できなくても、「導入の場面のみ参観する」等、可能な範囲でよいので、できるだけ全員で参観し、学ばせていただくようにする。</p>
	⑦子ども自身が今持っている力で考え、行動し、「自分の力でできた」と実感できる授業づくりをしているか。	43	54	56	<p>○全体で取り組む心が育ち、子どもたち一人ひとりよく頑張っていたと思う。</p> <p>○職員研修で学んだ「学び合い」を、さらに深めていきたい。</p> <p>◇個別にじっくり指導したいが、人数が多いと手が入れられなくなってしまふ(特支)。</p> <p>◆児童の実態に合った課題を設定すると共に、毎時間「振り返りの時間」を確保して、自己評価を行う。 →個々の学びや伸びを認め、励ます。</p> <p>◆支援体制を工夫する。</p>
	⑧学習問題を黒板に提示し、ねらいを明確にした「わかる授業」を行っているか。	52	58	58	<p>○授業スタイルが確立してきた。</p> <p>○ホワイトボードに書くことで、それを見ながら進めることができる。</p> <p>◇「ねらい」を児童に提示することを忘れてたり、教科や学習によっては明確になっていなかったりする場合がある。</p> <p>◇個別の学習の中では、ねらいが不明確になりがち。</p> <p>◆教材研究を深め、毎時間の「ねらい」を明確にする。</p> <p>◆毎時間、黒板やホワイトボードなどを使って「ねらい」を明記し、「わかる授業作り」に努める。</p>
	⑨一斉指導・グループ学習・個別指導、PCなどでメリハリのある授業を展開しているか。	58	64	62	<p>○グループ学習で、おとなしい子も自分の考えを発表することができた。</p> <p>○算数では、PCを活用し、視覚的に支援ができた。</p> <p>○人数は少ないが、できるところで集団も取り入れている(特支)。</p> <p>○△友だち同士の関わりができるようになってきているが、自分の意見ばかり押しつけている段階。グループ学習を工夫したい。</p> <p>◇グループ学習については、さらにうまく取り入れたい。</p> <p>◇授業の準備や計画をする時間が、なかなかとれない。</p>

				<p>◇家庭科や給食支援など、いろいろな先生に協力をいただきながら、サポート体制がとれるとよい。</p> <p>◆「教材研究の時間」を日課に位置付けるなど、教材研究の時間を確保する。</p> <p>◆地域ボランティアの方の協力もいただきながら、支援体制を整えていく。</p>	
	⑩学習内容を定着させるために、授業の終末で「見とどけ」をしっかりと行っているか	48	56	52	<p>○「ふり返り」を位置付けることにより、子どもたちもメタ認知できてきた。</p> <p>○終末のふり返りで、「今日の感想」や「学んだこと」を書くようにし、発表し合った。子どもたちが何を学んだか、担任が把握することができた。</p> <p>○ふり返りはしているが、内容を充実させたいと思っている。</p> <p>○必ず、練習問題に取りんだり、漢字は前時の内容の確かめをしたりするようにしている。</p> <p>◇時間がなくなってしまう、「見とどけ」まで、できていない。</p> <p>◇授業の進め方の工夫も必要だが、児童の理解の様子によっては、「見とどけ」までできていないこともある。</p> <p>◇ふり返りの時間を大切にとろうとしているが、分かったことなど、記入する中身を充実させていきたい。</p> <p>◆1時間の授業構想をしっかりと行い、「見とどけ」の時間を確保する。</p> <p>◆個人追究やグループ追究の最後に、全体で確認したり、学習カードを活用したりするようにしていく。</p> <p>◆「見とどけ」を分析して、次時の授業づくりに生かす。</p>
	⑪授業につながる宿題を工夫し、保護者と協力しながら学年に応じた指導をしているか。	60	69	60	<p>○自主学習の利用が進んできた。さらに連携を深めていきたい。</p> <p>○家庭でサインをもらうことで、子どもの宿題への意識が向いている。</p> <p>◇家庭学習がなかなか定着せず、朝、学校でやっている児童がいる。</p> <p>◇家庭学習の内容</p> <p>◆児童の実態を丁寧に把握し、課題に合った内容の宿題を出す。</p> <p>◆「つむぐ」を積極的に活用しながら、家庭と連携して根気よく取り組んでいく。</p>
よりよい人間関係づくり	⑫子どもが楽しく登校できるように、一人ひとりに声掛けしたり、家庭と連携をとったりしながら、一人ひとりに居場所がある学級づくりを行っているか。	68	65	65	<p>○Q-Uの結果を生かして、面接をしている。</p> <p>○努力はしている。もっと子どもの立場になって、常に上を目指したい。</p> <p>○家庭と連携するために、電話や家庭訪問をする先生方の姿が多く見られた。</p> <p>○登校しぶり等あまりなく、元気に登校できた。</p> <p>○家庭と「連絡ノート」でやり取りしている。</p> <p>○不安がある子は、「なかよし学級」で朝のスタートをすることで、安心して登校できている。</p> <p>◇「一人ひとり」と言われると、そうでない部分がある。</p> <p>◇「連絡ノート」を、読んでいただけない家庭がある。</p> <p>◇困っている児童の姿が、1学期を通じて「困っている児童」として映っていたことが自分としての課題で残った。役割や見立て、見通しなど、早い段階で共有したい。</p> <p>◆子どもの見取りをしっかりと行えるように、日々の児童理解に努める。</p> <p>◆いろいろな職員が、連携・協力しながらサポートできる体制を整えていく。</p>
教育相談	⑬保護者や子どもからの相談に対して、適切な対応ができているか。	62	67	61	<p>○相談にのった後の「その後」も気に掛け、見守っている。</p> <p>○毎日やり取りをし、情報を共有している。</p> <p>◇依存心の強い保護者への対応が難しい。</p> <p>◇適切かどうかの判断は保護者なので、何とも言えない。</p> <p>◇個別に様々な対応が必要で、それにうまく対応していないときがある。丁寧に説明をしていきたい。</p> <p>◆全職員が、「保護者や子どもたちにとって、自分の対応はどうか」を日々ふり返りながら、丁寧に対応するよう心掛ける。</p> <p>◆「Q-U」の結果を活用し、一人ひとりに寄り添った支援を行う。</p>

情報発信	⑭学校は、日頃の学校教育の理解や信頼を得るために、学校便り・学年便り・ホームページ等で伝えているか。	73	73	74	<p>○充実したホームページの運営がありがたい。</p> <p>○回数は少ないが、講習会や大会等のお知らせも、一ヶ月前を目標に早めに保護者にお知らせしたり、年間計画をしっかりと出したりするなど、見通しをもって協力していただけるよう努力している。</p> <p>○連絡帳を使って、毎日学校の様子を知らせている。</p> <p>◇「学級通信」をなかなか出すことができない。</p> <p>◇学校便りは、「夢ヶ丘」でなく、やはり校長先生、教頭先生から出していただいた方が、保護者により伝わると思う。</p> <p>◆今後も、連絡帳を始め、お便りやホームページなどで、積極的に学校での様子を家庭や地域へ発信していく。</p>
安全安心対策	⑮学校は、下校指導や、安全点検等を行い、事故防止や安全指導ができているか。	68	70	70	<p>○休み時間の安全な遊び方等、昨年度から共通意識をもち、学校全体で指導に当たってきたため、大きなケガが減った。</p> <p>○朝の街頭指導を毎週行ったり、必要に応じて一緒に下校指導を行ったりすることができた。</p> <p>○安全に関わるメールを小まめに配信し、家庭と連携して取り組むことができた。</p> <p>◇お便りでも発信するようにしたい。さらに防止に努めたい。</p> <p>◇</p> <p>◆街頭指導や下校指導を行い、安全にかかわる情報を全職員で共有し、指導に役立てる。</p> <p>◆今後も、「学校メール」などを活用して、安全に関わる情報を小まめに発信し、家庭や地域と連携して安全安心対策に取り組んでいきたい。</p> <p>◆</p>
非違行為防止	⑯非違行為防止に努めているか。	91	91	90	<p>○職員会議で「チェックシート」を活用して、日々の振り返りをするなどして、個々に意識して取り組むことができた。</p> <p>○職員研修で、小グループに分かれて話し合い、同僚性や非違行為防止への意識が高まった。</p> <p>◆今後も、職員の同僚性や関係性を高めながら、非違行為防止に向けて取り組んで行く。</p>